



仮想空間上であらゆるエンタメ共体験を可能にする ヴァーチャル パーク システム「VARP」の提供を開始

第1弾として、7月にアーティストとコラボレーションしたヴァーチャルライブを開催！

未来の体験を社会にインストールするクリエイティブ集団 PARTYは、世界中の人々がアバターを介して、ヴァーチャル空間上で様々な共体験を生み出すためのヴァーチャル パーク システム「VARP(ヴァープ)」を開発。このシステムを活用し、音楽・映画・アート・イベントなどのエンターテインメントシーンにおいて、ニューノーマルなエンタメ体験を実現していきます。

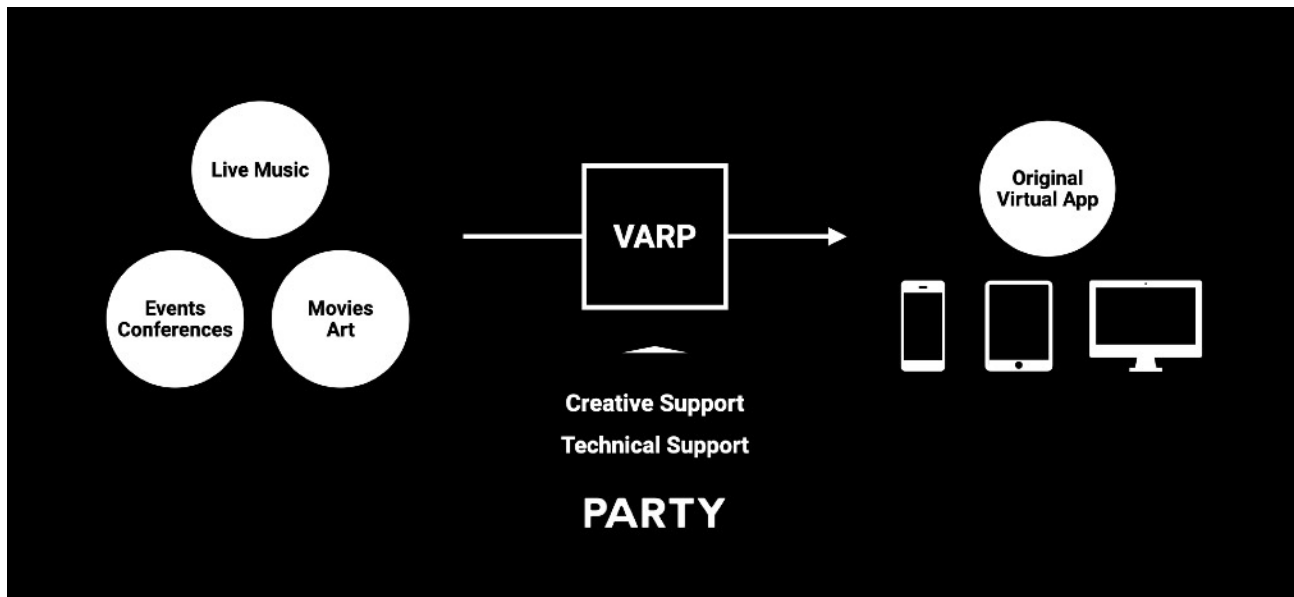
Virtual Park System 「VARP」

「VARP(ヴァープ)」は、仮想空間上で世界中の人々がアバターを介して、音楽・ライブ・映画・アート・イベントなど、あらゆるエンターテインメントの共体験を可能にするヴァーチャル パーク システムです。VARPを使うことで、アーティストやイベント主催者は、オリジナルのヴァーチャルパークを作成し、iOS/Android対応のアプリケーションとして配布することができます。ユーザーは、そのパーク内を自由に動き回ることができ、世界中のユーザーと同時に音楽ライブ、イベント、コンテンツ視聴などの体験が可能になります。

機能詳細

- ・仮想空間上にオリジナルパークを制作。
- ・複数のステージやパビリオンを設置する、マルチステージに対応。
- ・音源との距離/方向をリアルタイムで反映したサウンドシステム。
- ・アバター、アイテム、ライブ演出、デジタルインセンティブなど、イベントに合わせた「カスタムメイド」が可能。
- ・ライブ配信、アーカイブ配信、リピート開催など、幅広い配信形態に対応。
- ・アーティストの3Dモデリング・モーションキャプチャーも対応可能。
- ・アプリ内課金による「物販機能」も搭載予定。

PARTY



開発チームのコメント

コロナ禍を経験することによって、今まさに私たちの生活様式は変化しつつあります。多くのイベントや公演がキャンセルとなったエンターテインメントにおいても、新たな生活にあわせて進化するチャンスなのではないかと考えます。その進化は、リアルイベントの代替としてのヴァーチャルイベントというものではなく、リアルとヴァーチャルでの同時開催や、現実世界で取得したデータのヴァーチャル空間への活用など可能性は多岐にわたり、コンテンツそのものも、その収益構造もアップデートできるはずです。

PARTYがこれまで培ったテクノロジーやノウハウを活用することで、カスタムメイドされたオリジナルのヴァーチャル空間をよりスピーディーに提供することが可能になります。「オリジナルのヴァーチャル体験ができるアプリをつくって公演やプロモーションに使いたい」「ヴァーチャル空間を活用したビジネスを試してみたい」そんな新たな可能性を目指す方々と共に新しいエンターテインメントコンテンツを生み出すべく、バーチャル パーク システム「VARP」の提供をスタートしました。皆が集い熱狂できる新たな場所を、ぜひ一緒につくりましょう。

第1弾 コラボレーション ライブについて

イベント詳細については、6月に改めてお知らせいたします。

PARTYについて <https://prty.jp/>

アイデア・デザイン・テック・ビジネスを越境し、未来の体験を社会実装するクリエイティブ集団。AIと人間が共創したアート作品「GANGU」の日本科学未来館常設展示、成田空港第3ターミナルの空間デザイン、雑誌WIRED日本版のクリエイティブディレクション、ソフトバンク「FUJI ROCK `19 EXPerience by SoftBank 5G」など、最新テクノロジーとストーリーテリングを融合した数多くの実績がある。アートと個人の間を、テクノロジーで変革する「The Chain Museum」など新規事業開発も行っている。



PARTY